

社会福祉法人 健和会

令和4年度 事業報告

1. 理事会・評議員会

- 第1回：理事会 令和4年6月4日開催
- 議案第1号 令和3年度事業報告
 - 議案第2号 令和3年度決算報告及び監事監査報告
 - 議案第3号 社会福祉充実財産の算定及び社会福祉充実計画の作成について
 - 議案第4号 デイサービスセンター建て替え計画の進捗状況について
 - その他 特定技能実習生の状況（来日等）について
- 第1回：評議員会 令和4年6月23日開催
- 議案第1号 令和3年度事業報告
 - 議案第2号 令和3年度決算報告及び監事監査報告
 - 議案第3号 社会福祉充実財産の算定及び社会福祉充実計画の作成について
 - 議案第4号 デイサービスセンター建て替え計画の進捗状況について
 - その他 特定技能実習生の状況（来日等）について
- 第2回：理事会 令和4年10月29日開催
- 議案第1号 令和4年度第一次補正予算案について
 - 議案第2号 就業規則の改正について
 - 議案第3号 新型コロナウイルス感染について経過および事後報告
 - 議案第4号 令和5年に向けた体制作りについて
 - その他 デイサービスリニューアル工事の進捗状況
ひとり親職員への支援策などについて
- 第3回：理事会 令和4年12月10日開催
- 議案第1号 デイサービスセンター増築における担保提供の件
- 第2回：評議員会 令和4年12月28日開催（書面議決）
- 議案第1号 デイサービスセンター増築における担保提供の件
- 第4回：理事会 令和5年3月25日開催
- 議案第1号 令和5年度事業計画（案）について
 - 議案第2号 令和5年度予算（案）について
 - 議案第3号 就業規則・給与規程の改正について
 - その他 デイサービスセンターリニューアル工事の進捗状況など

2. 中期経営計画について

中期経営計画の2年目となる令和4年度は、新型コロナウイルスの感染状況により、昨年同様、すべての計画が思うようにいかない年度となってしまった。特に「地域社会との交流に向けた取り組み」については、地域住民・団体との交流促進を視野に入れて、地域イベントや、老人会等へのアプローチを行う予定であったが、感染予防の観点からほとんどの地域イベントは再開されておらず、参加ができない状況であった。しかしながら、東員町での長深ふれあい活動の参加や、長深地域の清掃ボランティアに参加するなど、少しずつではあるが、地域との交流を開始することが出来た。施設内においては、感染予防に万全を尽くしていたが、8月と12月には施設内でクラスターが発生するなど、新型コロナウイルス感染症の対応に追われる年度となった。

3. 施設資源の活用について

令和4年度よりデイサービスセンターリニューアル工事が開始された。工事は順調に推移し、令和5年4月20日に新たなデイサービスが完成。4月23日には内覧会を開催し、140名ほどが来設された。令和5年5月より既設デイサービスセンターの改修工事が開始され、地域へ開かれた施設への第一歩を踏み出した。

4. 法人直轄委員会の開催

(1) コンプライアンス委員会（構成員8名）

年6回開催

※コンプライアンスガイドラインに基づき、健和会職員が尊重すべき倫理・行動規範について定期的に話し合いが行われた。

(2) プロジェクト推進委会議（構成員9名）

年24回開催

※キャリアパス制度の確立に貢献するとともに、健和会の理念・ビジョンを常に考えて行動し、そのもとに立てられた中期経営計画に対し、部署横断的なチームとして施設全体を考える場とした。

5. 地域貢献

●地域貢献の一環として、東員町より委託された家族介護支援事業を実施した。

- ・目的：要介護高齢者を介護する家族等または介護が必要となりうる方々に対し、介護の知識や技術、用具に関する情報や、また軽度の運動や調理、医療情報などを提供することにより介護者の健康維持や身体的精神的な負担を軽減することを目的とする。
- ・対象：東員町内に住所を有する高齢者を介護している家族、近隣の援助者および家族介護に関心を持つ者。
- ・実績：令和4年度の実績は下記のとおりである。

実施日	テーマ・内容	参加実績
6月16日	健康チェック／いなべ暮らしの保健室	20名
7月25日	ピラティス	11名
8月10日	医食同源	15名
9月8日	チェアヨガ	中止
10月12日	薬の知識	15名
10月20日	寺ヨガ	13名
11月28日	クリスマス飾り	11名

参加人数は新型コロナウイルス感染症が終息傾向にあり、前年度の48名に比し85名と多くの方に参加いただいた。

●その他の取り組み

- ・東員町が行う認知症初期集中支援事業に職員を派遣した。
- ・東員町より地域リハビリテーション活動支援事業を請け負った。
- ・東員町より地域ケア会議支援業務を請け負い、会議に参加し助言等を行った。

1・令和4年度報告 法人事務局

目 標	<p>1・地域住民・団体との交流を促進するための体制づくりを行うとともに、多世代交流ができる環境整備を行う</p> <p>2・設備整備に向けた資金計画を行うとともに、安定した経営を行うための財務体質の強化を図る。</p> <p>3・利用者サービスの充実に向け、新たな医療体制の構築に向けた情報の収集や、職員の資質向上のための計画的な研修実施に向けたサポートを行う。</p> <p>4・人材の確保に向けた働きかけを行うとともに、人材の育成及び、長く働き続けることのできる職場環境作りを行う。</p>									
実 績	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="284 577 772 629">目標（値）</th> <th data-bbox="772 577 1394 629">実績（値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="284 629 772 1061"> <p>1－① 地域住民との交流を目的に地域ボランティアへの参加推進及び取りまとめを行う。</p> <p>1－② 近隣の中学校、高校との交流を模索し、多世代が交流できる環境の整備を行う。</p> </td> <td data-bbox="772 629 1394 1061"> <p>コロナ禍の中、限られた活動となった。</p> <p>1－① 地域貢献の一環として長深地区の清掃ボランティアに参加（2回／年）</p> <p>長深地区ふれあい活動参加、イオン東員にて福祉フェアの参加協力を行った。</p> <p>1－② 近隣の高校とインターンシップの受入れ、福祉コースへの講師派遣等の打ち合わせを行ったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、高校との交流は中断となった。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1061 772 1541"> <p>2－① 設備整備計画を策定し計画的な設備整備を行う</p> <p>2－② 各事務費、事業費の使用状況の分析と適正化。</p> </td> <td data-bbox="772 1061 1394 1541"> <p>2－① 設備整備計画に沿って空調機の入替及び照明器具の更新、その他修繕を実施した。</p> <p>2－② 燃料費の高騰により、7月より電気料金が大幅に値上げされた。電気料金を適正化するため、太陽光設備の整備及び空調機の計画的な清掃を実施。また、空調機の使用状況を確認し、設定温度の一定化を行い電力量の削減に寄与した。</p> <p>令和5年度に向けて、契約電力会社をUSEN電気から中部電力へ変更した。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1541 772 1921"> <p>3－① 取引銀行等の情報網も活用し、医療体制充実に向けた情報の収集を行う。</p> <p>3－② 職員の等級基準に応じた推奨資格の取得支援を行うとともに、サービス向上に向けた外部研修の選定と派遣、外来講師の招聘等、実施上のサポートを行う。</p> </td> <td data-bbox="772 1541 1394 1921"> <p>3－② 外部研修の情報を収集し、7月までに毎月1名の受講をサポートした。8月以降は施設内での感染流行のため、外部研修、外部講師招聘はかなわなかった。3月より外部講師により管理者研修を再開した。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	目標（値）	実績（値）	<p>1－① 地域住民との交流を目的に地域ボランティアへの参加推進及び取りまとめを行う。</p> <p>1－② 近隣の中学校、高校との交流を模索し、多世代が交流できる環境の整備を行う。</p>	<p>コロナ禍の中、限られた活動となった。</p> <p>1－① 地域貢献の一環として長深地区の清掃ボランティアに参加（2回／年）</p> <p>長深地区ふれあい活動参加、イオン東員にて福祉フェアの参加協力を行った。</p> <p>1－② 近隣の高校とインターンシップの受入れ、福祉コースへの講師派遣等の打ち合わせを行ったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、高校との交流は中断となった。</p>	<p>2－① 設備整備計画を策定し計画的な設備整備を行う</p> <p>2－② 各事務費、事業費の使用状況の分析と適正化。</p>	<p>2－① 設備整備計画に沿って空調機の入替及び照明器具の更新、その他修繕を実施した。</p> <p>2－② 燃料費の高騰により、7月より電気料金が大幅に値上げされた。電気料金を適正化するため、太陽光設備の整備及び空調機の計画的な清掃を実施。また、空調機の使用状況を確認し、設定温度の一定化を行い電力量の削減に寄与した。</p> <p>令和5年度に向けて、契約電力会社をUSEN電気から中部電力へ変更した。</p>	<p>3－① 取引銀行等の情報網も活用し、医療体制充実に向けた情報の収集を行う。</p> <p>3－② 職員の等級基準に応じた推奨資格の取得支援を行うとともに、サービス向上に向けた外部研修の選定と派遣、外来講師の招聘等、実施上のサポートを行う。</p>	<p>3－② 外部研修の情報を収集し、7月までに毎月1名の受講をサポートした。8月以降は施設内での感染流行のため、外部研修、外部講師招聘はかなわなかった。3月より外部講師により管理者研修を再開した。</p>	
目標（値）	実績（値）									
<p>1－① 地域住民との交流を目的に地域ボランティアへの参加推進及び取りまとめを行う。</p> <p>1－② 近隣の中学校、高校との交流を模索し、多世代が交流できる環境の整備を行う。</p>	<p>コロナ禍の中、限られた活動となった。</p> <p>1－① 地域貢献の一環として長深地区の清掃ボランティアに参加（2回／年）</p> <p>長深地区ふれあい活動参加、イオン東員にて福祉フェアの参加協力を行った。</p> <p>1－② 近隣の高校とインターンシップの受入れ、福祉コースへの講師派遣等の打ち合わせを行ったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、高校との交流は中断となった。</p>									
<p>2－① 設備整備計画を策定し計画的な設備整備を行う</p> <p>2－② 各事務費、事業費の使用状況の分析と適正化。</p>	<p>2－① 設備整備計画に沿って空調機の入替及び照明器具の更新、その他修繕を実施した。</p> <p>2－② 燃料費の高騰により、7月より電気料金が大幅に値上げされた。電気料金を適正化するため、太陽光設備の整備及び空調機の計画的な清掃を実施。また、空調機の使用状況を確認し、設定温度の一定化を行い電力量の削減に寄与した。</p> <p>令和5年度に向けて、契約電力会社をUSEN電気から中部電力へ変更した。</p>									
<p>3－① 取引銀行等の情報網も活用し、医療体制充実に向けた情報の収集を行う。</p> <p>3－② 職員の等級基準に応じた推奨資格の取得支援を行うとともに、サービス向上に向けた外部研修の選定と派遣、外来講師の招聘等、実施上のサポートを行う。</p>	<p>3－② 外部研修の情報を収集し、7月までに毎月1名の受講をサポートした。8月以降は施設内での感染流行のため、外部研修、外部講師招聘はかなわなかった。3月より外部講師により管理者研修を再開した。</p>									

<p>4-① 外部企業の研修プログラムを活用し、新卒職員の教育を充実させ人材育成に繋げる。また職員の計画的な採用を実施する。</p> <p>4-② 福利厚生の充実を行うとともに、職員交流会の体制構築及び実施をすることで職場環境を改善する</p>	<p>4-① 介護人材育成コースのOJTカリキュラムに基づくOJTを実施。</p> <p>6月より技能実習生の受入れを開始。令和4年度は4名の技能実習生を受入れた。</p> <p>4-② 職場環境の改善の一環として職員休憩室に新たな空調機を設置。</p> <p>永年勤続制度を見直し、より長く働く職員への福利厚生を拡充した。</p> <p>職員交流会については、感染状況を鑑み自粛となった。</p>
--	---

2・令和4年度報告 特別養護老人ホーム・ショート介護部門

<p>目標</p>	<p>1・地域、多世代との交流が出来るよう環境整備を行う。</p> <p>2・新たな事業の展開に供するため、安定した稼働率を維持し、財政基盤を確立する。</p> <p>3・家族と交流する機会を作り利用者支援の強化と満足度を向上させる。</p> <p>4・介護職員のモチベーションを高めるため、キャリアパス制度を定着させる。</p>	
<p>実績</p>	<p>目標（値）</p> <p>1-① 地域ボランティア又は地域イベントに年2回参加する。</p> <p>1-② 施設開放できる状況を見越し、ボランティア等の受入れ態勢の整備及び選定を行う。（年2回）</p> <p>2-① 随時、入居相談を受け付け、ベッドコントロールを行うことで、特養稼働率99%、短期稼働率70%、全体稼働率として95%以上を目指す。</p> <p>2-② 病院、他事業所からの困難ケースに対応できるよう内部勉強会を実施して職員をスキルアップさせる。</p>	<p>実績（値）</p> <p>コロナ禍の中、限られた活動となった。</p> <p>1-① ボランティア、イベントへの参加なし。</p> <p>1-② ボランティアの受け入れはなし。</p> <p>受け入れ態勢の整備に関してはボランティアの選定は現場、受付は事務所という形で整備。感染対応にて受け入れは出来なかったが利用者様、職員にどのようなものが良いかの聞き取りを実施した。感染対応解除後に活かしていきたい。</p> <p>2-① 特養稼働率 92.4% 短期稼働率 32.2% 全体稼働率 84.4%</p> <p>新規入居者 30名退居者 32名。</p> <p>8月のコロナで39名感染、その影響を含めて10名逝去。</p> <p>12月のコロナで9名感染コロナ感染により新規利用者様が入居されても亡くなられたり入院が続き、入居者数が上がらなかった。</p>

<p>施設内研修を各ミーティングで年1回以上行う。</p>	<p>2-② 排泄、食事、入浴、身体拘束廃止、褥瘡、行事の各ミーティングにて研修内容を検討し6回の研修を実施（動画研修、感染対応にて資料配布含む）。研修を考える側、受ける側ともに知識技術の向上に繋がった。</p>
<p>3-① 家族が参加できる行事の計画及び立案を行うとともに、感染症の状況を鑑み、年1回以上実施できるよう方法を模索する。</p> <p>3-② 家族への手紙 月5名以上送付する。写真 90名以上送付する。</p> <p>3-③ 満足度向上のため行事食を月1回実施する。</p>	<p>3-① 家族へのアンケートを集計し食事会をするところまでは検討したが感染対応中にて行事の実施には至らなかった。今後、感染対応解除後に実施していく。</p> <p>3-② 8月、9月はコロナクラスターにて手紙、写真の送付は出来なかったがその他の月に関しては毎月、手紙5枚以上、写真も年間を通して全利用者家族に送付し家族に様子を知って頂けた。</p> <p>3-③ 年間25回（月平均2回）の行事食を実施。行事食にはメッセージや行事にあわせた折り紙などを添えることで利用者様に楽しんで頂いた。</p>
<p>4-① キャリアパス制度の目的に沿った面談、評価を行う。</p> <p>4-② 特定技能実習生の配属6ヶ月後には、一般の職員と同様の業務ができるよう指導を行う。 （夜勤は1年経過後） 新人職員についても同様に指導を行い、配属後3ヶ月後には夜勤可能になるよう指導を行う。</p>	<p>4-① キャリアパス制度に基づいた目標設定、面談、アドバイス、評価を行った。</p> <p>4-② 6月に2名、8月に2名計4名の技能実習生が配属。コロナクラスターもあり。通常業務の指導が出来ない期間もあったが約6か月で実習生として行えるフロア、入浴等の通常業務は行えるようになった。 新人職員に関しても配属3ヶ月後には夜勤が開始できた。</p>

3・令和4年度報告 看護部門

<p>目標</p>	<p>1・入居者ご家族だけでなく、地域住民にも、自身や家族の健康に関心を持っていただく。</p> <p>2・高齢者の脆弱な機能の改善に貢献するとともに、薬剤の依存を少しでも減らす取り組みを行う。</p> <p>3・ご家族との連携や職員のスキルアップも含めた、一貫した看護支援体制を構築す</p>
-----------	---

	<p>る。</p> <p>4・自己研鑽により、自己実現への努力を惜しまない人材を育成するとともに、個々の職員の能力に見合った適正な評価を行う。</p>	
	目標（値）	実績（値）
実績	<p>1－① 施設見学やホームページから介護、看護の実態を知っていただく。(状態変化時即家族に連絡。家族と連携強化)</p> <p>1－② 認知症講座を開催し、健康寿命を延ばす予防医学について勉強会や運動指導を実施する。</p>	<p>1－①コロナ禍直接面会困難な為、状態変化においてはその都度連絡し、家族の意向を確認し面会の場を設けた。三か月毎に健康便りを作成し家族に郵送。</p> <p>1－②家族介護教室を開催。テーマ「医食同源」日頃の食事を見直し、食事バランスを実践することで健康増進に役立てて頂く。</p>
	<p>2－① 入浴後に温泉のかけ湯をし、保湿剤を使用することで乾燥を防ぐ。(皮膚トラブルを予防) 2－② 日光浴(外気浴)やアウトドア行事を開催し、夜間良眠を促す(睡眠薬使用減)また、飲水量を増やす。(下剤使用減・脳血管疾患予防・認知症悪化予防)</p>	<p>2－①美肌水(尿素・グリセリン・蒸留水)を手作りし、入浴後に噴霧。実際は2割程度の方にしか実施できなかった。今後気温の上昇に伴いひんやり感が気持ちよく感じられる為大半の方に噴霧していく。</p> <p>2－② 水分をできるだけ多く摂取していただけるよう飲水量 check を確認し声掛けや介助にて摂取頂いた。天候の落ち着いた日には車椅子散歩を実施し、外気浴を促すことで程よい眠りについていただけるよう援助する。</p>
	<p>3－① 医療情報トピックスの提供や介護職への医務研修、外部研修からのフィードバックを通し、多職種と知識共有を行う。(施設全体のレベルアップ)</p> <p>3－② ご家族とありのままを受け入れ合える信頼関係作りを目指し、看護介護情報の提供等、意思疎通に努める。</p>	<p>3－①看護職員不足にて業務中心で研修に着手できなかった。夏までには施設内研修を実施する方向で現在調整中。</p> <p>3－②面会時に看護師から体調や検査データ等の説明を行い家族からの要望も受け付けることで信頼関係の構築に貢献できた。アンケートからも評価いただいている。</p>
	<p>4－① 看護のルーチン業務以外にも、個々の特性や資質についてしっかりと観察し評価する。</p> <p>4－② 朝の医務カンファレンス後に部門目標を唱和することで、各自が目標に沿った意識を持ち業務にあたる。(一貫した看護体制の実現)</p>	<p>4－①利用者からの信頼度、手技、全体把握、医師との連携等に重点を置き公正に評価する。3月5月と2人の正職看護師を迎え、現在指導中。</p> <p>4－②人員不足により早番確保困難にて出勤と共に全員が業務に取り掛かっている状態。唱和はここ半年ほど行えていない。今後も医務室の基本理念として参考にして頂けたら幸い。</p>

3・令和4年度報告 デイサービス部門

目 標	<p>1・地域住民との交流促進のため、新規のボランティアの受け入れを図る。 地域イベントへの参加。</p> <p>2・天然温泉や敷地を活用した新しいデイサービスセンターの開設に向けた準備を進めるとともに財政基盤を確立する</p> <p>3・利用者満足度向上に向けて、職員一人ひとりのスキルアップのための研修参加を促す。また、家族参加型の行事を開催する。</p> <p>4・人材育成のためのキャリアパス制度を定着させるとともに、魅力のある働きやすい職場環境をつくる。</p>	
実 績	<p style="text-align: center;">目標（値）</p> <p>1－① 近隣市町村のボランティア団体を調査し、新たな受け入れ先を模索し、招聘する。</p> <p>1－② 地域に職員が参加できるイベントはないか調査をし、積極的に参加していく。</p> <p>2－① 新たに完成する新フロアにおいて、来春完成後、温泉資源やリハビリ機器、建物周辺環境をいかに有効活用できるか検討する。</p> <p>2－② 職員の資質を高め、良質なサービスを提供することにより稼働率95%以上を目指す。</p> <p>3－① 専門職としての知識技能を高めるための研修へ1人1回以上参加させ、職員の質の向上を図る。</p>	<p style="text-align: center;">実績（値）</p> <p>1－① 新型コロナウイルスの影響でボランティアの受け入れはできなかったが、オンラインレク（体操・歌など）を毎月一回以上レクリエーションに取り入れた。</p> <p>1－② 東員町長深地区の「ふれあい活動イベント」に参加し、健康チェックや綿菓子の提供を行った。</p> <p>2－① 新フロアでの動線や備品について毎月のミーティングにて議題を上げ話し合った また、理学療法士により他施設リハビリ機器見学を実施。 4/23 内覧会実施し、一般見学者 113 名・事業所見学者 19 名あった 4/24 新フロアでの営業開始。</p> <p>2－② 短時間利用者 2,587 名 通常利用者 9,012 名 合計 10,305.5 名 84%となった。 9月までは順調に利用者数も伸びていたが、利用者本人や家族の新型コロナウイルス感染等にて10月以降利用者の落ち込みがみられた また、新規利用者のお試しも新型コロナウイルス感染予防により外出を控える高齢者が多く、目標の95%を達成できなかった。</p> <p>3－① 新型コロナウイルス感染予防のため、外部研修が中止されることが多く、思うような研修には参加できなかったが、生活相談員3名のオンライン研修に参加できた また、施設内研修として、移乗研修を実施。</p>

<p>3-② 家族参加型の行事や、介護実態の見学会等を開催する。 (1回/6ヶ月)</p>	<p>3-② 2022.3に配布したアンケートをもとに家族参加型の行事について話し合いを行うも、新型コロナウイルスの影響で実施できず。利用者のみでの、8月夏祭り、10月運動会、12月クリスマス会を実施した。 また、利用時の様子などを動画やチラシにして、新フロア内覧会にて動画を流し、チラシを配布した</p>
<p>4-① キャリアパス制度に基づいた面談の実施と、定期的な職員会議の開催により意思疎通の改善向上を図る。 4-② ホームページのブログ欄を活用し、毎月情報発信していくことで、施設プロモーションを行う。</p>	<p>4-① 上半期目標と評価、下半期目標と評価時に上司との面談を実施。各自の目標を考えながら日々の業務に努めた。 4-② デイ便り毎月作成し、家族と居宅に配布し、ブログも毎月更新できた。</p>

5・令和4年度報告 居宅介護支援部門

<p>目標</p>	<p>1・地域住民との交流促進を図る。 2・新規事業の展開の為、財政基盤を構築する。 3・新規利用者、困難ケースの情報共有を深め、支援体制を強化する。また、他機関の情報収集及び交流を行う。 4・研修に参加し知識を増やすと共に、伝達研修を行うことで説明力を磨く。また、事例検討会を実施し、チームのサポート体制を整える。</p>	
<p>実績</p>	<p>目標(値)</p> <p>1-① 老人会、地域カフェに参加し、交流を深めることで健和会の認知度を高める。 1-② 施設と協働し、家族介護者教室(東員町委託事業)を開催、地域社会への貢献に務める。 2-① 特定事業所加算の要件を遂行する。 2-② 月々の稼働率94%以上</p>	<p>実績(値)</p> <p>① 毎月、笹尾・城山地区のカフェに参加をして自治会長、民生委員、地域住民との交流を図る。介護者教室の案内については、笹尾西4丁目地区では、回覧板や掲示板の告知へ協力して頂く。 ② 年7回の企画を行い、(コロナ感染予防の為、1回は中止)11~20名の参加者を得る。施設企画としては市川看護師のレクチャー「医食同源」、ケアマネージャーのクリスマスリースづくりを実施する。 次年度へ引き続き介護教室の開催希望あり。 ① 今年度主任ケアマネの資格を新たに1名のスタッフが取得する。 算定要件を問題なく満たす。</p>

	を目指す。	② 83,7%～99.4%と月により稼働率の変化は見られたが、令和4年度の稼働率として94.7%の実績となる。
	3-① 週一回の定例会議を持つことで新規、困難ケースを全てのスタッフが情報共有し、幅広い意見を取り入れながら支援していく。 3-② 月に1度以上、病院、各事業所、インフォーマルな機関へ訪問し、利用者の支援やプランに反映させる。	① 定例会議を毎週実施し、新規ケースや困難ケースの情報共有を深める事が出来た。 状況に応じて同行訪問を行い、チームでサポートしながら支援にあたった。 ② 入退院連携を積極的に行い、加算を得るとともに、他職種連携を図った。
	4-① 1人が年間4回以上研修に参加し、ミーティング時には、他職員に伝達研修を実施する。 4-② 月1回、事例検討会を行い、意見交換や必要に応じたアドバイス、サポートを互いに行う。	① ほとんどがWEB研修で、移動時間が短縮でき効率的な参加形態となった。 伝達研修を通して、医療・介護の新しい知識の習得の機会となった。 ② 年5回、地域ケア会議に事例を提出し、専門職からのアドバイスを得て、支援の方向性について再考する事が出来た。 また3名の主任ケアマネが、他事業所の困難事例について、アドバイザーとして出席し、様々なケースを共有できた。

6・令和4年度報告 バーデハウス東員部門

目標	<p>1・入居者と地域住民との交流や多世代交流ができるような環境整備を行う。</p> <p>2・新たな事業の展開のため安定した稼働率を維持する。 入居者の健康増進のため施設資源等を活用する。</p> <p>3・入居者のご家族に生活の様子を知ってもらえるよう情報発信することで、交流と連携強化、満足度の向上を図る。</p> <p>4・人材育成のための人事考課制度を定着させるとともに、サービス充実に向けた職員の質の向上を図る。</p>	
実績	目標（値）	実績（値）
	1-① 近隣の老人会やイベントに参加するための計画を8月までに立案し、実施する。	<p>1-① 東員町長深地区の自治会長と行事への参加ができるような打ち合わせを実施。</p> <p>4月東員町内の清掃活動 10月缶拾い活動へ参加。</p> <p>10/9 長深ふれあい活動へ入居者と職員参加</p> <p>10/29 長深ふれあい活動最終報告会参加。</p> <p>1-② 長深ボランティア活動の方に協力して</p>

<p>1-② 地域の高齢者を対象とした行事計画を9月までに立案し、実施する。</p>	<p>頂きながら6/7・8・9・13に草刈り実施。ゴルフ大会予定するも、職員不足・コロナウイルス拡大もあり実施できず。</p>
<p>2-① バーデ通信やパンフレットの定期的な郵送を月50ヶ所を目安に行う。また、ホームページや検索サイトの更新を月1回で行い、空き部屋状況等を提供する。</p> <p>2-② 施設内で野菜や果物の栽培をし、毎月提供できる場所を作る。</p>	<p>2-① 4月より年間を通しHPの空き状況・検索サイトの更新。県内・県外の居宅支援事業所にパンフレット・バーデ通信を毎月50通程郵送。10/23イオン福祉フェアにてパンフレット配布。303号室空いていたが8/19入居され満床となる。</p> <p>2-② 小かぶ・いちご・さつま芋の苗植えや収穫を入居者様と一緒にいき、食事の際に漬物や付け合わせやおやつにして提供できた。</p>
<p>3-① 年一回以上の家族参加型の行事を立案し実施する。</p> <p>3-② 月2人以上の入居者のご家族に対し、写真や近況報告の手紙を発出する。</p>	<p>3-① 8~9月にBBQ・花火大会、12月にクリスマス会を家族様参加で予定していたが、新型コロナウイルス拡大につき入居者様のみの参加で実施。</p> <p>3-② お花見・苗植え・七夕・夏祭り・花火大会の写真をバーデ通信に載せ、その都度家族様に郵送および本人様に渡した。</p>
<p>4-① キャリアパス制度に基づく面談を行う。</p> <p>4-② スキルアップ、サービス向上につながる外部研修、施設内研修への参加を全スタッフに促す。</p>	<p>4-① 随時面談や、パート職員も含めた話し合いを行い、長深地区との話し合いにもできる範囲で参加。</p> <p>4-② 新型コロナウイルス感染拡大の為対面研修の実施がなく、ZOOMにて4月に職員2名が1回・6月に職員1名が1回・7月に職員2名が1回・10月に職員1名が1回参加することができた。</p>